

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会

第23回理事会議事次第

日時：平成30年5月25日（金）14:00～17:00

場所：沖縄県立博物館・美術館 博物館実習室

1 開 会

2 議 事

(1) 事務局および各委員会からの報告（資料1）

(ア) 事務局からの報告

- ①サンゴ礁ウィーク2018について
- ②キッズジャンボリーについて
- ③平成30年度事務委託について

(2) 法人化（NPO 法人）について（資料2）

(3) サウジアラムコ助成事業とジュニアサンゴレンジャー事業について（資料3）

- (ア) 平成30年度サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援助成事業に係る各種要領と要綱、スケジュール、審査会構成員
- (イ) ジュニアサンゴレンジャー事業

(4) 第11回総会について（資料4）

- (ア) 総会の日程、スケジュール
- (イ) 総会の議案

- 第1号議案：平成29年度活動報告
- 第2号議案：平成29年度収支決算報告
- 第3号議案：平成30年度事業計画（案）
- 第4号議案：平成30年度収支予算（案）
- 第5号議案：その他

(5) 交流会について（資料5）

(6) その他

資料1：事務局および各委員会からの報告

資料2：法人化（NPO法人）について

資料3：サウジアラムコ助成事業とジュニアサンゴレンジャー事業について

資料4：第11回総会について

資料5：交流会について

役員名簿

役職	名前	出欠
会長	中野 義勝	
副会長	八重山サンゴ礁保全協議会 吉田 稔	
理事	泡瀬干潟を守る連絡会 桑江 直哉	
	安納 昭則	
	NPO 法人沖縄エコツーリズム推進協議会 山岸 豊	
	沖縄県衛生環境研究所 金城 孝一	
	沖縄県環境部自然保護課 金城 賢	
	沖縄県立博物館・美術館 菊川 章	
	沖縄リーフチェック研究会 安部 真理子	
	梶原 健次	
	環境省那覇自然環境事務所 広野 行男	委任状
	木村 匡	
	有限会社コーラルクエスト 岡地 賢	
	後藤 亜樹	
	佐藤 崇範	
	WWF ジャパン 鈴木倫太郎	
	一般社団法人渡嘉敷ダイビング協会 平田 春吉	
	西平 守孝	委任状
	藤田 喜久	
宮古島マリンリゾート協同組合 新村 一広		
監査役	沖縄県漁業協同組合連合会 賀数 基和	
	鹿熊 信一郎	

サンゴ礁ウィーク2018 報告書

2017年5月

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会
サンゴ礁ウィーク 2018 実行委員会

○サンゴ礁ウィーク 2018 の実施について

石垣市では、2011年から2016年まで、地域が主体となり3月5日（サンゴの日）の前後一週間をサンゴウィークとし、サンゴ礁の保全に関する様々な活動を展開していた。そこで、沖縄県サンゴ礁保全推進協議会では、石垣市で取り組まれている活動を沖縄県全体に広げ、多くの県民の参加のもと、これらの活動が相互に繋がりを持ち、サンゴ礁を大切にする県民の心を育むことを目的として、平成26年3月に第一回目となる「おきなわサンゴ礁ウィーク 2014」を開催した。平成28年からは企画名を「サンゴ礁ウィーク」とし、サンゴ礁保全に関わる団体・個人を沖縄県に限らず広く支援する方針を示した。

平成30年には、第5回目となる「サンゴ礁ウィーク 2017」を平成30年2月24日（土）～3月11日（日）に実施した。期間中はシンポジウムや磯の観察会などの体験型イベントなど26団体によるイベントが沖縄県内外で開催された。

<サンゴ礁ウィーク 2018 実行委員会の開催>

以下のとおり実行委員会を開催した。

実行委員：中野義勝、吉田稔、藤田喜久、鈴木倫太郎、案納昭則、小菅陽子、後藤亜樹、一般財団法人沖縄県環境科学センター（山川英治）、一般社団法人キュリオス沖縄（仲栄真礁）、沖縄県環境生活部自然保護課（津波昭史）

日時：第一回 2017年11月13日（月） 15:00-17:00

第二回 2018年1月26日（金） 15:00-17:00

内容：実施要領等の作成、イメージ展開準備、広報先等調整など

<イベント登録>

平成29年11月22日～平成30年1月31日の期間に当協議会メーリングリストやHP、Facebookページ上にてイベント実施者の募集を行った。また、昨年度のサンゴ礁ウィークにてイベントを実施していただいた団体に協力を依頼した。

イベントを実施するにあたり、会場使用を希望する団体に対しては、県立博物館・美術館のこどもアトリエ、県民アトリエを当協議会が借用し、会場を使用したイベントを実施できるようにした。また、希望する各イベント主催者に2万円の支援金を支給した（20団体）。

登録があったイベントは、昨年の30件から4件減の計26件となった。各イベントの主催者、イベント名、開催日時については、表1（サンゴ礁ウィーク 2018 期間中に開催されたイベント一覧）に示す。

＜サンゴ礁ウィーク 2018 の実施主体＞

2018 年度より、これまでイベント登録団体を共催団体として扱ってきたが、沖縄タイムス社との共催もあったため、新たに「参加団体」という項目を設置してイベント登録団体を記載した。

表 2. 主催、共催、後援、協賛、参加団体

主催	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会
共催	沖縄県
	株式会社沖縄タイムス社
	環境省那覇自然環境事務所
協賛	アラムコ・アジア・ジャパン株式会社
後援	一般社団法人 日本サンゴ礁学会
	株式会社琉球新報社
	沖縄テレビ株式会社
	琉球朝日放送株式会社
	琉球放送株式会社
	株式会社ラジオ沖縄
参加団体	NECO ツーリズム
	沖縄リーフチェック研究会
	石垣島ていだダイビングサービス
	ダイブステーション ブルミンゴ
	コーラル・ネットワーク
	海 LOVE in 宮古島 実行委員会
	一般社団法人チームけらま
	八重山海のきれいさ調査隊
	BAR Sherlock Holmes
	日本ハム株式会社
	沖縄県立博物館・美術館
	特定非営利活動法人 宮古島海の環境ネットワーク
	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター
	海 LOVE ネットワーク
	NPO 法人コーラル沖縄
	あーまんシアター
	WWF しらほサンゴ村
一般社団法人日本サンゴ礁学会 若手の会	

	環境省石垣自然保護官事務所
	NPO 日本安全潜水教育協会
	国連生物多様性の10年市民ネットワーク
	特定非営利活動法人石西礁湖サンゴ礁基金 崎枝公民館
	石垣島を元気にするプロジェクト
	パスタカフェのりーちえ
	隠れ家カフェ清ちゃん
	じゅごんの里
	株式会社キープブルー

<わたしのさんご礁イメージコンテストの実施>

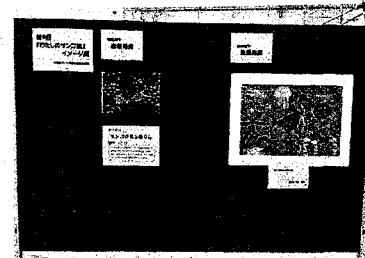
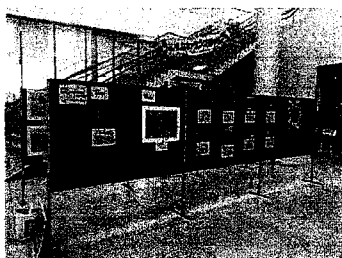
2017年11月9日から2018年1月12日の期間で作品の募集が行われたが、応募作品が少数であったため、応募締め切りを1月31日まで延期した。結果、写真部門に24点（昨年より9件増）、絵画部門に25点（12点増）の応募があり、各部門から最優秀賞を1点ずつ選出した。応募作品は2018年2月27日（火）より沖縄県立博物館・美術館にておいてサンゴ礁ウィーク期間中の展示を行った。



『サンゴがある暮らし』
(作者：山内 まゆ氏)



『サンゴがあると楽しいな』
(撮影者：平良 美緒氏)



沖縄県立博物館・美術館のエントランスエリアにて作品を展示した。

<広報活動>

▶ 広報資料を用いた周知

広報用にシール、チラシ、ポスターのデザインをイラストレーターの大城愛香氏に依頼し、表2の部数で制作した。チラシに掲載するイベント情報は、イベント登録開始の11月22日から12月17日までに登録した先着20団体を対象とした。また、アラムコ・アジア・ジャパン(株)よりサコッシュ200個の提供があり、参加団体と沖縄県自然保護課内に配布した。県内のコンビニエンスストアLAWSON 13店舗において、2月4日から3月11日の期間まで沖縄県広報課を通してポスターを設置した。

表1. 2016年と2017年の広報資料と部数.

広報資料	部数		
	2016	2017	2018
ステッカー(10×10cm)	300	200	-
シール(10×10cm)	500	300	300
ジャンパー	200	200	-
サコッシュ	-	-	200
チラシ(A4)	10000	6000	6000
ポスター(B2)	200	200	200

主な配布先：イベント登録団体、実行委員会、共催や後援団体、協賛企業、沖縄県^{※1}

※沖縄県からは県関係機関、県内各学校長へ配布し、広報依頼を行った。報道機関については、後援依頼、広報依頼、取材依頼を行った。

▶ Facebook ページを用いた広報

2016年に開設したFacebook ページを使って企画全体や各イベントの情報を発信した。また、協議会ホームページにサンゴ礁ウィーク 2018 のページを開設し、各イベントの詳細について案内するようになった。サンゴ礁ウィーク 2018 についてFacebook ページの利用を開始した2017年10月23日時点で328件だったフォロワー数は、2018年3月31日時点では368件となっていた。

▶ ゆいレールにおける車内広告

ゆいレール車内の中吊り広告を平成30年2月19日から平成30年3月11日の期間で行った。全14編成(2車輦1編成、昨年より2編成増)の車内一箇所に中吊りポスター(200×950mm)を設置した。また、沖縄都市モノレール(株)のご厚意でおもろまち駅、県庁前駅、那覇空港駅の駅構内にチラシを設置していただいた。



ゆいレール車両内の中吊りポスターと駅構内に設置されたチラシ

▶ 沖縄タイムス社と連携した広報

共催団体である沖縄タイムス社に社告（2月7日）を掲載していただいた他、中野会長による論壇記事（3月5日）の掲載をしていただいた。また、2月22日、3月2日には沖縄タイムスへの5段半広告が掲載された。紙面広告に掲載したイベントは、イベントの開催日、対象、内容を考慮し、より多様なイベントが揃っていることをアピールできるようにした。



沖縄タイムス紙面広告2月22日掲載

論壇

国際サンゴ礁年2018として明けた今年ですが、2月には暮らした心の安寧を奪ったサンゴ礁に激震が走りました。1月に東シナ海で事故を起こし炎上沈没したタンカーの流出油が、奄美大島各地の海岸に漂着しました。突然の災害に見舞われた地



中野 義勝

域の皆さんにはお見舞い申し上げます。不幸中の幸いとしては、関係する個人・機関の連携が比較的スムーズであったことで今後の処理などに光明が持てることでしょうか。20年前、日本海で起こったナホトカ号原油流出事故では想定外の被害が連鎖し拡大していきました。これ以降

も私たちは多くの災害を経験し、課題を学び克服してきました。それらの経験は思わぬところでも生かされているのだと思います。1998年に世界を席巻した海水温上昇によるサンゴの白化被害は、その後も頻発していま

害が今後も免れ得ないことを意味しています。大きなリスクを負ってしまえば、個別の対策にコストを割くことはいよいよ難しくなります。今できることは、今しておかなければなりません。好調を続ける沖縄観光を担保

サンゴ礁保護へ行動を

課題に気付くセンス磨こう

す。国連気候変動に関する政府間パネル(IPCC)がこのほど公表した特別報告書の素案では、現在のままでは2040年に地球の気温上昇が1.5度に達し、今まで以上に対策にコストをかけなければさらに大きなリスクを負うことになるとしています。これはサンゴの白化被

するのは、温暖な気候に育まれた自然と文化です。もちろんこれらは島に暮らす人々にとってもかけがえのないものです。その価値を国際的に認めてもらう世界自然遺産登録を目前にして、油漂着の事故対応も評価対象になったかもしれません。

皆さんの周囲で日々起こるサンゴ礁をはじめとした地元の自然への課題も、気が付かなければ、気が付いても何もしなければ、取り返しのつかないことになりかねません。そのためには、気が付く・行動するためのセンスをいつも磨いておくことです。背後に大きな影を持った課題も、手元に引き寄せて工夫しながら一つ一つ解決する楽しみの環の連鎖が課題克服の端緒になるでしょう。サンゴ礁ウィーク2018と続く国際サンゴ礁年2018の登録イベントが主催者も参加者も楽しみながらセンスを磨く場になり、やがて世界を動かす大きなうねりになるものと期待しています。

(名護市、県サンゴ礁保全推進協議会会長、58歳)

沖繩タイムス、3月4日(日)掲載

➤ テレビでの広報

2018年2月24日、25日に放送された県広報番組『うまんちゅひろば』（24日・琉球旭放送、25日・琉球放送）内において、サンゴ礁ウィーク 2018 について紹介を行った。番組には当協議会の中の会長も出演した。

➤ 雑誌での広報

月刊ダイバー3月号においてサンゴ礁ウィーク 2018 の開催告知を行った。この告知は小作愛さんご少年 2018 年の特集の中で取り上げられ、開催予定イベントのリストの掲載と一部のイベントについては写真つきで紹介をいただいた。2018年02月10日発売、発行部数は12万部（HPより）。

IYOR 今年も国際サンゴ礁週間！
つなげる、広げる、愛を伝える

サンゴ礁ウィーク 2018 間もなくスタート！

サンゴ礁は地球上で最も多様な生物多様性を有する生態系であり、多くの生物が依存している。しかし、人間活動によるサンゴ礁の破壊は深刻な問題となっており、世界の多くのサンゴ礁が消失の危機に瀕している。このサンゴ礁ウィーク 2018 は、サンゴ礁の重要性を広く知らしめ、保護の意識を高めることを目的として開催される。期間中は、サンゴ礁の生態系について学び、サンゴ礁の保全に貢献できる様々なイベントが実施される。ぜひこの機会に、サンゴ礁の大切さを学び、保護の意識を高めよう。

イベント開催の詳しい情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。
サンゴ礁ウィーク 2018 www.iyorbok.com/coralweek
お問い合わせ先：事務局（事務局）
〒900-0001 沖縄県那覇市美里1-1-1 美里ビル101号室
TEL: 098-944-2215 / FAX: 098-944-2216

Event Schedule

開催日時	開催場所	イベント内容
2月24日(土) 10:00-12:00	那覇市美里1-1-1 美里ビル101号室	サンゴ礁ウィーク 2018 オープニングイベント
2月25日(日) 10:00-12:00	那覇市美里1-1-1 美里ビル101号室	サンゴ礁の生態系について学ぶ講座
2月26日(月) 10:00-12:00	那覇市美里1-1-1 美里ビル101号室	サンゴ礁の保全に貢献できる様々なイベント
2月27日(火) 10:00-12:00	那覇市美里1-1-1 美里ビル101号室	サンゴ礁の生態系について学ぶ講座
2月28日(水) 10:00-12:00	那覇市美里1-1-1 美里ビル101号室	サンゴ礁の保全に貢献できる様々なイベント

128

月刊 DIVER3月号, p128

○実施結果について

<イベント開催状況>

平成30年2月24日(土)～3月11日(日)におきなわサンゴ礁ウィーク2018を開催し、26件のイベントの登録があった。そのうち、1件のイベントは中止となった。イベントの一覧(表3)と各イベントの実施報告を以下に示す。中止となったイベント(No.6)については実施報告書を省略する。協議会で確保した県立博物館・美術館の会場は、確保した日程と登録団体の希望が合わず、今回の利用者はいなかった。報告された参加者数は1896名となった。

表3. サンゴ礁ウィーク2018 期間中に開催されたイベント一覧. (*: 支援金受給団体)

No.	主催事業者名・団体名	イベント名称	開催日
1*	NECO ツーリズム	サンゴの海を取り戻そう! ビーチクリーンと海人鍋とネイチャーゲーム	3月4日(日)
2*	沖縄リーフチェック研究会	沖縄島のサンゴ礁のいま: 写真展とトーク	2月27日(火)～3月11日(日)
3*	石垣島ていだいビングサービス/ダイブステーション ブルミンゴ/コーラル・ネットワーク	リーフチェック石垣フサキ沖	3月2日(金)～3月3日(土)
4*	海 LOVE in 宮古島 実行委員会	海 LOVE in 宮古島 2018	3月4日(日)
5*	一般社団法人チームけらま	ケラマ諸島一斉ビーチクリーン	3月4日(日)
6	八重山海のきれいさ調査隊	身近な海のきれいさを調べよう ～サンゴ礁ウィーク島内一斉調査～	2月24日(土)
7*	BAR Sherlock Holmes	Coral Night at Kumoji	3月3日(土)～3月5日(月)
8*	日本ハム株式会社	サンゴ礁再生プログラム	2月25日(日)
9*	沖縄県立博物館・美術館 OkiMu	サンゴの日は博物館へサンサン GOGO!	3月4日(日)
10*	特定非営利活動法人 宮古島海の環境ネットワーク	マングローブ観察会	3月11日(日)
11	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター	サンゴ礁自然誌講座	3月4日(日)
12	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター	美ら島・美ら海子ども工作室「サンゴの型取り染めでオリジナルTシャツを作ろう」	3月10日(土)
13*	海 LOVE ネットワーク	海 LOVE ビーチクリーン	3月4日(日)
14*	NPO 法人 コーラル沖縄	海の観察会	3月4日(日)
15*	あーまんシアター	あーまんシアターとサンゴ礁さんぽ	3月3日(土)